

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 明治電機工業株式会社
 コード番号 3388 URL <http://www.meijidenki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安井 善宏
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企画管理本部長 (氏名) 伊藤 秀則
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

TEL 052-451-7661

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	12,631	—	209	—	299	—	169	—
20年3月期第1四半期	14,345	7.0	490	0.5	555	4.9	348	18.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	14.06	—
20年3月期第1四半期	28.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年3月期第1四半期	25,664	—	12,820	—	50.0	—	1,065.93	
20年3月期	28,049	—	12,930	—	46.1	—	1,071.54	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 12,820百万円 20年3月期 12,930百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	27,402	—	571	—	709	—	404	—	33.55
通期	57,548	△3.6	1,552	△34.7	1,788	△29.3	1,032	△31.7	85.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 12,067,120株 20年3月期 12,067,120株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 39,500株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 12,057,245株 20年3月期第1四半期 12,067,120株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月13日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定・業績予想のご利用に当たっての注意事項等、及び上記1に係る業績予想の具体的な修正内容は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライム問題に端を発する金融市場の混乱等による米国経済の減速、原油及び原材料価格の高騰などを主因に、景気の先行きに不透明感が強まっております。

当社グループの主要ユーザーである自動車、自動車関連企業は北米及び日本市場の不振から生産計画の縮小が余儀なくされ、設備投資の延期、縮小等の見直しがなされるようになり、また、セラミック、半導体、機械関連においても設備投資に対する調整感が強く、厳しい環境の中での推移となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、今年度よりスタートした第6次中期経営計画に基づき、事業コンセプトである「商社機能を持ったFAエンジニアリング企業」として、海外も含めたエンジニアリング力、サポート力を活かした営業活動に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は126億31百万円、経常利益は2億99百万円、四半期純利益は1億69百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて23億85百万円減少し、256億64百万円となりました。主な要因は、流動資産が23億98百万円減少したことによるものであります。

流動資産につきましては、営業債権の減少が21億24百万円となったことを主因に前連結会計年度末に比べて23億98百万円減少し、215億5百万円となりました。

流動負債は、営業債務の減少が15億99百万円、短期借入金の減少が2億50百万円及び未払法人税等の減少額が3億94百万円あったことを主因に前連結会計年度末に比べて22億95百万円減少し、123億46百万円となりました。流動比率は前連結会計年度末より11.0ポイント上昇し174.2%となりました。

純資産額は、前連結会計年度末に比べて1億9百万円減少し、128億20百万円となりました。主な要因は為替換算調整勘定が1億29百万円減少となったことであります。1株当たり純資産額は1,065円93銭となり、また、自己資本比率は前連結会計年度の46.1%から50.0%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少し、13億10百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億63百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益2億99百万円、減価却費45百万円、売上債権の減少額20億59百万円及び未収入金の減少額1億48百万円があったこと等による資金増と、仕入債務の減少額15億25百万円、賞与引当金の減少額1億99百万円及び法人税等の支払額5億9百万円があったこと等による資金減によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は85百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出39百万円及び関係会社に対する貸付による支出41百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億31百万円となりました。これは、短期借入金の純減少額2億50百万円、自己株式の取得による支出30百万円及び配当金の支払額1億50百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成20年5月13日に公表いたしました平成21年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしました。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,232	1,228	1,334	770	63 87
今回修正予想 (B)	27,402	571	709	404	33 55
増減額 (B-A)	△2,830	△657	△625	△366	—
増減率 (%)	△9.4	△53.5	△46.8	△47.5	—
前中間期実績	29,095	1,095	1,205	723	59 94

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	61,544	2,607	2,803	1,608	133 26
今回修正予想 (B)	57,548	1,552	1,788	1,032	85 67
増減額 (B-A)	△3,995	△1,053	△1,013	△575	—
増減率 (%)	△6.5	△40.4	△36.2	△35.8	—
前期実績	59,717	2,376	2,529	1,512	125 35

(修正の理由)

当第1四半期の連結売上高は、当社グループの主要ユーザーである自動車・自動車関連企業が、米国経済の景気後退・燃料価格の高騰による販売不振から、米国及び国内における生産計画の縮小を余儀なくされ、設備投資の抑制、延期等を行っており、また、セラミック・半導体関連においても設備投資に対する調整感が強く、設備関連の電気機器・システムの販売を中心に当初計画を下回りました。

一方、利益面につきましても、取引先のコストダウン要請が強く、利益率が計画を下回るなど、厳しい結果となりました。

こうした状況を踏まえ、今後の業績について再検討した結果、グローバルに見て景況感に浮揚力乏しく、第2四半期連結累計期間業績予想及び通期連結業績予想は前回は下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたしました。

なお、第3・第4四半期の連結売上高につきましては、例年の売上パターンに加え、受注状況を踏まえて、第2四半期連結累計期間比増加する見込みといたしております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ19百万円減少しております。

3. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,310,120	1,363,996
受取手形及び売掛金	17,262,404	19,387,121
商品	2,035,508	2,216,301
製品	16,756	12,076
原材料	46,963	65,343
仕掛品	335,108	217,604
その他	522,123	668,506
貸倒引当金	△23,449	△26,869
流動資産合計	21,505,536	23,904,080
固定資産		
有形固定資産	2,243,115	2,246,990
無形固定資産	143,134	156,558
投資その他の資産	1,772,786	1,742,139
固定資産合計	4,159,036	4,145,688
資産合計	25,664,573	28,049,768
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,727,884	12,327,215
短期借入金	300,000	550,000
未払法人税等	171,609	566,209
賞与引当金	144,546	344,000
役員賞与引当金	7,716	—
その他	995,187	855,518
流動負債合計	12,346,942	14,642,942
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
役員退職慰労引当金	97,200	97,900
その他	99,817	78,530
固定負債合計	497,017	476,430
負債合計	12,843,960	15,119,373

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,311,778	1,311,778
資本剰余金	1,371,950	1,371,950
利益剰余金	10,054,880	10,035,636
自己株式	△30,161	—
株主資本合計	12,708,447	12,719,364
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207,396	176,200
繰延ヘッジ損益	△1,004	—
為替換算調整勘定	△94,226	34,830
評価・換算差額等合計	112,164	211,030
純資産合計	12,820,612	12,930,395
負債純資産合計	25,664,573	28,049,768

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

売上高	12,631,838
売上原価	10,973,773
売上総利益	1,658,064
販売費及び一般管理費	1,448,861
営業利益	209,203
営業外収益	
受取利息	8,098
受取配当金	19,626
仕入割引	55,826
為替差益	23,865
その他	7,215
営業外収益合計	114,632
営業外費用	
支払利息	7,647
売上割引	14,430
その他	2,752
営業外費用合計	24,830
経常利益	299,006
特別利益	
固定資産売却益	227
貸倒引当金戻入額	2,918
特別利益合計	3,145
特別損失	
固定資産除却損	1,043
ゴルフ会員権評価損	1,600
特別損失合計	2,643
税金等調整前四半期純利益	299,508
法人税等	130,002
四半期純利益	169,506

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	299,508
減価償却費	45,061
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,918
受取利息及び受取配当金	△27,724
支払利息	7,647
売上債権の増減額 (△は増加)	2,059,337
たな卸資産の増減額 (△は増加)	53,160
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,525,445
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△199,454
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,716
前渡金の増減額 (△は増加)	36,871
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△4,646
未収入金の増減額 (△は増加)	148,347
差入保証金の増減額 (△は増加)	25,636
その他	129,079
小計	1,052,176
利息及び配当金の受取額	28,291
利息の支払額	△7,647
法人税等の支払額	△509,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△39,009
関係会社貸付けによる支出	△41,000
その他	△5,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250,000
自己株式の取得による支出	△30,161
配当金の支払額	△150,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△53,875
現金及び現金同等物の期首残高	1,363,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,310,120

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

当社グループは、主として電気機器・計測器及び電気設備並びに自動・省力化用機能部品とその設備の販売を営んでおり、事業区分としては単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	14,345,980
II 売上原価	12,450,978
売上総利益	1,895,001
III 販売費及び一般管理費	1,404,374
営業利益	490,627
IV 営業外収益	94,975
受取利息	6,087
受取配当金	9,255
仕入割引	53,755
その他	25,876
V 営業外費用	30,309
支払利息	10,531
売上割引	15,543
その他	4,233
経常利益	555,293
VI 特別利益	2,646
貸倒引当金戻入額	1,775
その他	870
VII 特別損失	858
固定資産除却損	858
税金等調整前四半期純利益	557,081
税金費用	208,603
四半期純利益	348,477